

観光学研究科 博士前期課程 学位論文の評価基準

修士論文の評価にあたっては、研究倫理を遵守していることを前提に、修士論文及び口頭試問において、下記項目等を参考にして総合評価し、合否判定を行う。

審査の項目	DPとの紐づけ
テーマ	DP1, DP3
構成力	DP2
独自性	DP1, DP3
位置付け	DP2
達成度	DP1, DP3

観光学研究科博士前期課程 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

和歌山大学の目的及び使命並びに観光学研究科の目的に基づき、観光学研究科博士前期課程の専門教育を通して、次の目標に到達していると認められる者に修士(観光学)の学位を授与する。

DP1	<p>1. 高度な専門性と研究力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 複雑かつ重層的な観光現象を、幅広い学際性と高度な専門性から分析できる研究力を身につけている。 ・ 観光学に関する学修・研究活動を行い、その成果をテーマ・構成力・独自性・位置づけ・達成度の観点から評価される修士論文として結実できる思考力と行動力を身につけている。
DP2	<p>2. 協働性と倫理性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光関連領域における研究課題を適切なコミュニケーションを図りながら解決できる協働力を身につけている。 ・ 観光現象の研究に必要とされる倫理観を備えている。
DP3	<p>3. 地域への関心とグローバル視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域や国際社会で展開される観光現象を解明する力を身につけている。